

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ギリシャのTsipras政権が交渉の焦点となっている年金と付加価値税、財政目標に関する新提案を示したことを受け、一時レアル買いの反応を示した。マーケットでは楽観的な見通しがやや支配的となったものの、国際通貨基金(IMF)への返済期限であり、ギリシャ支援プログラムも失効する月末が近付く中で、ユーロ圏各首脳が「ギリシャ側との隔たりは依然残っている」と述べたことで、引けにかけてはレアル買いも失速。レアル相場は3.08台前半で取引を終えた。緊急会合が開催されたブリュッセルにおいて、Merkel独首相が「決定の土台が構築されていない以上、首脳会議は単なる話し合いの場になる」との厳しい姿勢を示す一方、「ユーロ圏首脳がギリシャ支援交渉の一環として新たな債務救済の公約を検討している」との報道が流れるなど、この日の相場はギリシャ情勢を巡って一喜一憂する展開となった。

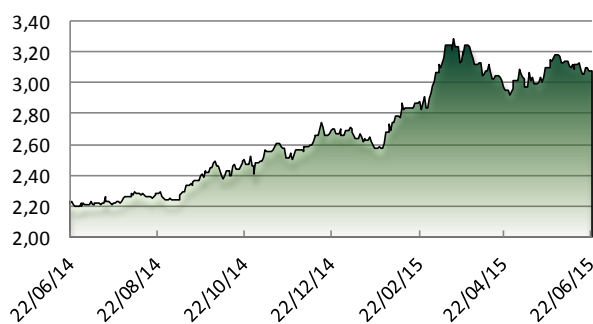
中銀が公表した週次サーベイによると、年内の成長率見通しは1.45%減と、前回の1.35%減からさらに悪化(5週連続下方修正)。また、インフレ率(IPCA)見通しも前回の8.79%から8.97%に上昇し、9%台が目前に迫っている。これに呼応する形で、年末の政策金利(Selic)見通しも14%から14.25%へ上昇。なお、中銀が11日に公表した6月金融政策委員会議事録において、足許の高インフレ定着を回避するため、「断固たる決意と忍耐力が必要」との文言が追記されたことを受け、マーケットは、「中銀は今後も利上げサイクルを継続する」との見通しを強めている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	6月19日	6月22日	前日比	5月22日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,60	40,05	+0,45	39,30	+0,75
USD / BRL Spot	BRL	3,0978	3,0803	-0,0175	3,0942	-0,0139
USD / JPY Spot	JPY	122,71	123,37	+0,66	121,54	+1,83
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.749	53.864	+115	54.377	-513
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	240,8	249,0	+8,2	222,3	+26,7
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,61	12,50	-0,11	12,17	+0,33
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,30	14,23	-0,07	13,75	+0,48
3 Months US Dollar Libor	%	0,281	0,281	+0,000	0,285	-0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	222,1	223,2	+1,1	225,6	-2,4

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

